

技術内容と翻訳

中川 勝久

これは、つい先日のグループ研究会で、自分がリポーターとして担当した部分を発表したときのことである。和英対象の英文は BYTE 誌 JULY 1992 記載のタッチボードを解説した **KEYBOARD WITHOUT KEYS** というタイトルの記事で、いろいろ問題となった箇所があったが、その内容の一つを挙げると、

The back end is a digital interface (bus, parallel, or serial) containing the touch data.

という文章があり、これに対して、自分は後段はタッチデータを保有するデジタルインターフェイス(パラレルまたはシリアルバスから成る)である、と訳を付けた。括弧内の bus を interface の同格ととり parallel, or serial を bus の修飾語ととったのである。宇賀治さんから、文法上からも“バス、パラレル、または、シリアル”と訳すべきであり、それらは interface の修飾語であるとの指摘を受けた。成るほど、後で調べてみたら、“parallel interface”、“serial interface”という語も辞典にのっており、技術的なことをもっと深く調べておいたなら、このような誤訳を犯さずに済んだのにと悔やまれる。また技術のことがわからなければ、せめて文法上正しく訳すべきであったと思う。また“後段”は“後端”と訳すべきだったかもしれない。

以前に、自分が水上セミナーに出席していた頃、当然、徳永さんもご健在だった頃のことであるが、ある月のセミナーで(正確には1990年10月)、次の文章の英訳が課題として与えられた。

“熱で誘起されるひずみがプリント板に加えられると、ストレスや板形状に変形を起しやすしい。”

この課題文について、英語以前の問題として、その技術内容について活発な議論が行われた。森本さんや自分は勿論、あの温和な徳永さんですら、“ストレスがあつて、歪みが生じるのだから、原文はおかしいのではありませんか”と強く発言された。結局(かなり長い時間の議論の末)、英語の問題なんだから、そう堅苦しく取り組まなくても一ということ、うやむやにおさまってしまった。

この出来事には後日談がある。森本さんより郵送で次のコメントを頂いた。

STRESS, STRAIN および **DEFORMATION** の因果関係について下に **LONGMAN** からの抜粋を示します。

Stress: a force per unit area, measured in Newton per meter squared, examples of a stress include a tension, a thrust, and shearing force

Strain: When a stress is applied to a body, a strain is produced. The body can be distorted or deformed, depending on its elasticity.

deformation:

1. The process in which an object's shape or form is changed permanently.
2. The amount by which an object is deformed from its natural state.

これによると

STRESS が加わると **STRAIN** が発生し、場合によっては **DEFORMATION** が起きる、となります。ちなみに、小生訳は次の通りでした。

A thermally stressed printed board is strained and likely to deform.

自分は森本さんの努力に対し敬意を抱きつつ、早速次のカウンターコメントを森本さん宛に送った。

“熱で誘起されるひずみがプリント板に加えられると、ストレスや板形状に変形を起こしやすい。”

この原文はいろいろな面で物議をかもし文章だったと言えます。

まず、ひずみ(歪み)が原因で、結果としてストレスが起きると読み取れるからです。徳永さんが、“ストレスがあつて、ひずみが生じるのではないか”と言われたのはうなずけるコメントだったと思います。(このコメントは貴殿が引用された **strain** の定義とも合致しています。)

私は訳文も原文のひずみとストレスを入れ替えてあります。ただし起こしやすいは変形にだけかかりストレスにはかからないように訳しておられます。

私は“変形”を問題にしました。“ひずみと変形は同じようなものだ。ひずみは変形をもとの長さで割ったもの。だから、ひずみを変形を起こすということは納得できない”と主張したのです。

しかし、今静かに考えてみると、おおざっぱに言って、変形には弾性(**elastic**)変形(外力を取り去るとこれも消えて、物体は元の形にもどる場合のもの)と塑性(**plastic**)変形(外力を除いても残る、すなわち、永久的なもの)とがあり、原文で言っている変形は **permanent deformation** のようです。(貴殿引用の **deformation** の定義の1. に該当します。)

従って、原文を次のように読み変えればよかつたのかなと思います。

“熱で誘起される膨張などの作用がプリント板に加えられると、残留応力や永久変形を起こしやすい。

以上

結論として、技術が皆目分からなくては技

術翻訳ができない。だが、全ての技術分野に通暁することは不可能である。従って、限られた時間をうまく利用して、できる限り技術英文に親しみ、重要と思われる言葉(技術用語であれ、通常の英語であれ)に出会ったなら、こまめに辞書、参考書にあたる努力を失わないことが肝要だと思う。この意味においても、グループ研究会の存在価値は大きいと、改めて感じる次第である。